

平成19年4月10日
教育委員会事務局学務課

市立小学校における30人学級の実施について

1 趣 旨

学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、少人数学級編制を推進し、本市の未来を担う子どもたちが、「確かな学力」「豊かな心と生きる力」を身につけるような教育活動を実践します。

学校及び学習生活の出発点である小学校の1・2学年において、教員がじっくりと子ども一人ひとりにきめ細やかな指導を行うことで、子どもたちの情緒を安定させ、その後の学校生活の基本となる学習習慣や生活習慣の着実な定着を図ります。

また、今年度は1年生全クラスにおいて30人を基準とした学級編制を行い、幼稚園、保育園から小学校への接続を円滑にし、「確かな学力」と「生涯学び続ける意欲」を有する人間性豊かなたくましい子どもを育成します。

2 期待できる効果

個別指導の機会の増加

担当児童数の減少により子ども一人ひとりの学習評価が短時間で可能になり、その結果を授業における個別指導に生かすことができるようになります。

学習意欲・態度の向上

学習面においても、国語や算数の基本的な内容を習得する時期でありこの時期に授業を楽しみながら、意欲を持って、学習内容を確実に定着させていくことは、その後の学力形成に大きな意味を持ち、大変重要です。

30人学級編制は、一人ひとりのつまずきによく目が行き届き、時間をかけ、丁寧な指導ができると同時に、つまずきの早期発見と対応が容易になります。

基本となる学習習慣や生活習慣の定着

生活集団を少人数化することにより、学級全員に担任の目が行き届くようにし、よりきめ細かな指導を行うことが可能になります。

家庭との連携

家庭との連絡帳に目を通す時間を十分確保できるなど、学校と家庭の情報交換がより深まることにより、互いが連携し子ども理解や生活支援に早期に

対応することができます。

ゆとりある教室スペースの活用による多様な学習活動の実施

従来の教室にスペースが生まれることにより、指導内容に応じた様々な机の配置等ができるようになり多様な学習形態をつくり出せます。

3 対 象

全奈良市立小学校 48校

4 学級編制基準

文部科学省の学級編制基準は40人ですが、よりきめ細やかな指導を行うため、奈良市立小学校1・2年生においては30人を基準とします。30人を基準とした学級編制を行うことにより、今年度は21校で実施し通常の学級編制より22学級増となりました。

5 講師の任用について

学級増に伴う講師の任用については、今後の学級編制基準の弾力化を視野に入れつつ、市費支弁講師を任用することとしました。今年度は、今までの経験を生かし、学校の事情や状況をよく理解している市費支弁講師から採用しました。

6 事業予算について

全体 123,600,000 円

| | | |
|----|-----------------|---------------|
| 内訳 | 賃金等の費用 | 108,600,000 円 |
| | 教室整備工事・備品購入等の費用 | 15,000,000 円 |

(担当) 奈良市教育委員会事務局学務課
〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号
0742-34-4762 Fax 0742-34-5347